

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
プログラミング言語 I Programming Language I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(上級情報処理士必修、情報処理士必修)	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
コンピュータは人間の命令通りに動作する。コンピュータに与える命令を記述したものをプログラムといい、プログラムを作成することをプログラミングという。AndroidアプリはJavaで作成されるためJavaの理解が必須である。本講座ではJavaの基本を学び、サンプルアプリを実機で動作させることを目的とする。				
授業の目標				
①Java、Androidアプリを作成するために必要な開発環境について説明することができるようにする。 ②Javaの文法を説明することができるようにする。				
授業の方法				
近年身近になったAndroidアプリの開発環境を利用して、コーディング→コンパイル→エミュレータおよび実機で実行→デバッグといった基本的なJAVAプログラミングの流れを理解し、簡単なプログラムを作成するための知識を身に付ける。				
学習の成果 (学習成果)				
授業の目標①②を達成すると、簡単なJavaプログラムを作成し動作させることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	プログラミング環境の整備 Androidについて			
第3回目	プログラミング環境の整備 画面に文字を表示する			
第4回目	変数を使う 1 演算結果の出力			
第5回目	変数を使う 2 キーボードからの入力、乱数の生成			
第6回目	プログラムの流れの分岐 1 if-then-else文			

第7回目	プログラムの流れの分岐2 switch文	
第8回目	プログラムの流れの分岐3 演習問題	
第9回目	プログラムの流れの繰り返し1 do文	
第10回目	プログラムの流れの繰り返し2 while文	
第11回目	プログラムの流れの繰り返し3 for文	
第12回目	プログラムの流れの繰り返し4 多重ループ、break文、continue文、printfメソッド	
第13回目	課題の演習1	
第14回目	課題の演習2	
第15回目	課題提出、課題解説、まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート	60%	課題のプログラムが動作するかで判断し、採点基準は「正常に動作する(60)、若干の修正によって動作する(50)、大幅な修正が必要(40~30)、未完成(30点未満)」(カッコ内は配点)である。
調査報告書		
小テスト	40%	テキストの演習問題を用いて小テストを実施する。満点となる条件は授業で説明する。
試験		
発表内容(態度含む)		
その他		無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する。
教科書と参考図書		
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。 参考書:「明解Java 入門編」(柴田望洋)、「Androidプログラミングレシピ」(D. Smith, J. Friesen 著 吉田邦夫 訳)、「作ればわかる! Androidプログラミング」(金宏和實)		
履修上の留意点・ルール		
演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。		